

【高等部】

1 実践内容

3年次の研究では昨年度検討・作成した授業改善シートを活用し、「生徒が自ら選び、自ら取り組むことのできる授業作り」の研究を各選択教科で進めた。授業改善シートは単元ごとに作成し、研究日にシートに書かれている内容やその他の事案について話し合いをおこない検討した。主体的に活動することができた場面や、主体的になっていない場面をどうすれば主体的になるかなどを授業改善シートに記入し、その後の授業実践で生徒の主体性がどう変わったのかを確認できるようにして授業改善に繋げた。また、各選択教科の授業改善シートから改善例をピックアップして記入する蓄積シートを作成し学部全体で共有できるようにした。

【開かれた授業研究会】選択教科「体育」 『単元名：オリンピック、パラリンピック競技をしよう。』

本年度開催が予定されていたオリンピックにちなんで、選択教科「体育」では年間指導計画にオリンピック・パラリンピック競技を経験しようという単元を設定した。オリンピック競技は今回から正式種目として開催される3X3バスケットボールを行い、パラリンピック競技からは経験の多い馴染みのあるボッチャを取り入れた。



授業研究会ではT Tの連携を図り、役割分担をすることで支援を要するところに的確に支援することができ、より主体的に動くことができた生徒も多くいた。さらに、簡単なルールを設定することで、全員が楽しく競技に参加することができ、試合をおこなうことができた。単元ごとに記入していた授業改善シートを活用することで、高等部の研究テーマに沿う授業づくりに繋がった。また、競技と繋がりのあるウォーミングアップをしたり、試合の結果を大きく残したりすることでさらに主体的な活動になっていくと感じた。

2 反省

(1) 成果

- ・支援内容や手立ての変更を行うことで、生徒は自ら取り組む場面が多くなり主体的に活動することができた。
- ・授業と支援の記録用紙として、授業改善シートは良かった。
- ・授業改善シートの記録が毎回残っていることが個別の指導計画でも授業づくりでも生かすことができた。
- ・授業中の生徒の様子や支援の仕方を意識するようになり、困ったところや支援が必要なところに教師が気付くきっかけとなった。
- ・研究日の時間で各選択教科の話し合いの機会があり、生徒の活動の振り返りができ良かった。また、話し合いの場で授業改善シートに記録することで記入が面倒なものにならなくなり良かった。



(2) 今後について

- ・授業改善シートの活用にあたって、教科によっては目標に関わらない部分の支援や改善が多かった。シートの改善や活用方法を提案し、継続して授業改善シートを活用できるようにする。
- ・話し合いの場が研究日であったため、集まるのが容易だったが、今後は教科ごとに話し合いができる場を積極的に各教科で設定していくことが必要である。